

福祉施設のボランティアを学ぶ ボランティア養成講座

ボランティアセンターでは、3月8日（土）、ボランティア養成講座を社会福祉センターで開催し、同センターに登録をしている個人・団体ボランティア、実践者を含む22名が参加しました。

今回は、『施設現場に求められるボランティア像』をテーマに、釧路北園啓生園ボランティアコーディネーター、山田佳邦氏の講義を通して、介護施設現場に求められるボランティアの

意義や役割について学びました。施設ボランティアを受け入れている釧路北園啓生園では、ボランティアとして協力をいただく心得として、「イベント内容を理解して活動に取り組むこと」、「利用者を楽しんでもらうために、どのようなことが必要なか考えること」の2つ基本的な内容を協力ボランティアに伝達しています。

施設のボランティアには、いくつかの種類があり、聞き役に

徹する傾聴ボランティア、麻雀をしながら利用者と交流を深める麻雀ボランティア、カラオケサークルの際に曲をカラオケ機器に入力するカラオケボランティアなど、さまざまなボランティアが活動しています。

講座を終了して、ボランティアが活動達成に向けて必要なものは何かを考え、特長を生かしながら職員と連携して事業を行うことが大切だということを学びました。



[上] 活動のようすを説明する、山田佳邦氏



[上] ボランティアの役割の説明を聞く参加者

ボランティア登録団体の紹介

MAN POWER

きれいな町を目指し活動を展開

MAN POWERは、多機能型施『ぶらっと』に通所している利用者の有志が、「この町のために自分たちが何か出来ることはないか」と立ち上げたボランティアサークルです。

主な活動は、他市町村から転入してきた方に、きれいな厚岸町の景色を見てもらいたいと思い、町内各所の環境美化活動、清掃活動を行っています。



[上] 清掃活動に取り組むサークルのみなさん